

2020年12月11日

報道関係各位

GMO インターネット株式会社

## 日本初の SA 構成のローカル 5G 用無線局の本免許を取得 オフィスでのローカル 5G 実験環境を運用開始

GMO インターネット株式会社（以下、GMO インターネット）は、日本初<sup>(※1)</sup>となる SA（スタンドアローン）構成のローカル 5G<sup>(※2)</sup> 用無線局の本免許を、2020 年 12 月 4 日（金）に取得いたしましたのでお知らせいたします。

この度の本免許取得をうけ、グループ第 2 本社・渋谷フクラス内にあるコミュニケーションスペース「シナジーカフェ GMO Yours・フクラス」において、まずは GMO インターネットグループのパートナー（従業員）がローカル 5G を利用できる実験環境の運用を開始しました。

(※1) 自社調べ。

(※2) ローカル 5G とは、携帯電話事業者による全国向け 5G サービスとは別に、地域の企業や自治体等の様々な主体が自らの建物や敷地内でスポット的に柔軟にネットワークを構築し利用可能とする仕組みのこと。

### 【GMO インターネットのローカル 5G 環境について】

#### ■ 無線局概要

申請者名	GMO インターネット株式会社
本免許取得日	2020 年 12 月 4 日
使用する周波数帯	28GHz 帯
無線局の種別	実験試験局
設置・常置場所	GMO インターネットグループ 第 2 本社渋谷フクラス（東京都渋谷区）
ネットワーク構成	SA（スタンドアローン）構成



<ローカル 5G 基地局（渋谷フクラス）>

この度 GMO インターネットが「シナジーカフェ GMO Yours」において運用を開始したローカル 5G の実験環境は、（1）日本初の SA 構成で構築されたローカル 5G 環境、かつ（2）MEC（マルチアクセスエッジコンピューティング）サーバーを導入していることから、次世代モバイル通信技術 5G の特徴である『超高速』『超低遅延』『多数同時接続』を最大限発揮できることが期待できます。そのため、SA 構成と MEC 技術を用いて構築された 5G 環境は、5G を活用した様々なサービスが登場する普及期において必要となることが見込まれています。<sup>(※3)</sup>

GMO インターネットグループでは、まずはグループ内のパートナーを対象に当該施設を開放し、グループ各社が提供するプロダクトやサービスと 5G の活用を検討してまいります。なお、通信キャリアが提供する 5G 環境も併設しており、NTT ドコモの 5G 環境を利用することも可能です。

今後は、エンジニア・クリエイターをはじめより多くの方々にも 5G 活用のための実験・テスト環境としてご利用いただけるよう、当該施設を社外へ開放する予定です。また、ローカル 5G 環境の拡張に向けて、同スペースにおける 4.5GHz 帯無線局の免許申請も予定しています。

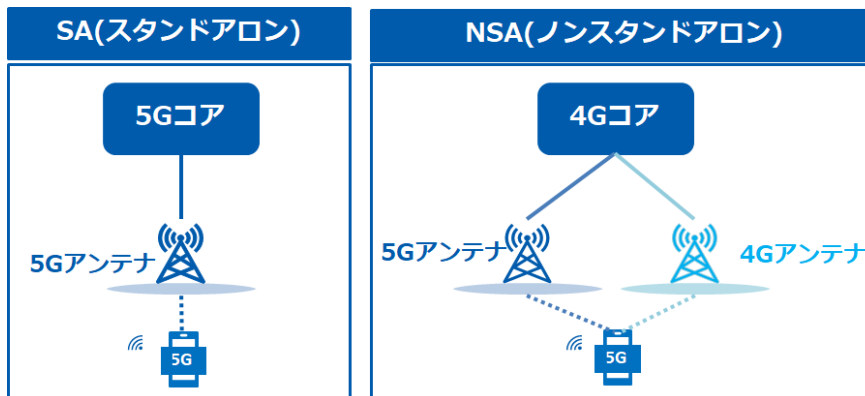
GMO インターネットグループは、インターネットインフラ事業を主軸としてビジネスや生活に欠かせないインターネット環境を支える企業グループとして、次世代の社会インフラとなり得る 5G に対応したインターネットサービスの開発・普及に取り組んでまいります。

(※3) 総務省 総合通信基盤局『2020年の5G実現に向けた取組』

URL : [https://www.soumu.go.jp/main\\_content/000593247.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/000593247.pdf)

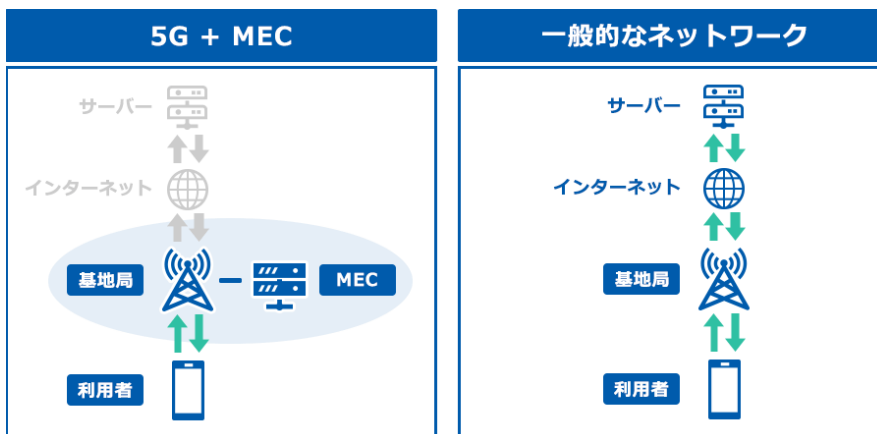
### (1) 日本初の SA 構成でのローカル 5G 環境

SA 構成は、4G/LTE 基地局を利用するノンスタンドアロン構成（NSA 構成）とは異なり、5G の無線技術とコアネットワーク設備のみを用いる仕組みです。なお、SA 構成でローカル 5G 用無線局の本免許を取得したのは、GMO インターネットが日本初<sup>(※1)</sup>です。



### (2) MEC (マルチアクセスエッジコンピューティング) サーバーを導入

MEC は、ユーザー端末により近い場所（エッジ）にデータ処理を行うコンピューターを配備することで、5G 通信の最適化ならびに高速化を図る技術です。MEC サーバーを導入することでユーザー端末とより近くで通信が行われるため、特に『超低遅延』が実現できると期待されています。



### 【GMO インターネットグループによる 5G の取り組みについて】

次世代モバイル通信技術 5G は、あらゆるモノがインターネットにつながる IoT の普及・発展を加速させるものとして注目されており、単なる通信インフラとしての役割だけではなく、人の生活やビジネスの基盤となる社会インフラの 1 つとして浸透すると考えられています。

一方、GMO インターネットグループは、1995 年のインターネット事業開始以来、「すべての人にインターネット」をコーポレートキャッチに掲げ、インターネットインフラサービスを中心にインターネット関連事業を提供する企業グループとして、インターネットを通じて、人々の日常生活やビジネスを支えてまいりました。

こうした中 GMO インターネットグループは、今後社会インフラとなり得る 5G に対応したインターネットサービスを生み出し普及させることをミッションとして捉え、まずはローカル 5G の環境を構築することといたしました。2020 年 6 月に無線局の免許の申請を行った後、同年 10 月に予備免許を取得し、この度の本免許取得に至りました。

### 【関連 URL】

・2020 年 1 月 6 日発表

『GMO インターネットグループ オフィスへの「ローカル 5G」導入に向け無線局免許を申請』

URL : <https://www.gmo.jp/news/article/6629/>

・2020 年 10 月 5 日発表

『日本初！スタンドアロン構成のローカル 5G 用無線局の予備免許を取得～2020 年内にオフィスへのローカル 5G を導入～』

URL : <https://www.gmo.jp/news/article/6928/>

以上

---

### 【報道関係お問い合わせ先】

- GMO インターネット株式会社  
グループコミュニケーション部  
広報担当 石井・長井  
TEL : 03-5456-2695 E-mail : pr@gmo.jp

### 【GMO インターネット株式会社】 (URL : <https://www.gmo.jp/>)

会 社 名	GMO インターネット株式会社 (東証第一部 証券コード : 9449)
所 在 地	東京都渋谷区桜丘町 26 番 1 号 セルリアンタワー
代 表 者	代表取締役会長兼社長・グループ代表 熊谷 正寿
事 業 内 容	■インターネットインフラ事業 ■インターネット広告・メディア事業 ■インターネット金融事業 ■暗号資産事業
資 本 金	50 億円

Copyright (C) 2020 GMO Internet, Inc. All Rights Reserved.